



子どもたちの様子と今月のねらい



3 歳児 うさぎ組

運動会を終え、うさぎ組の子どもたちは体を動かす遊びに興味をもって楽しんでいます。園庭では保育者と追いかけて楽しんだり、学級全体の活動では簡単な鬼遊びを楽しんだりしています。また、元気タイムではえいたコーチに巧技台を使って体を動かす遊びを教してもらいました。保育の中でも、巧技台を使って体全身を使った遊びを楽しんでいます。

今月は、引き続き体を動かすことを楽しみつつ、秋の自然に触れたり、自然物を使ったりして遊べるようにしていきます。

<今月のねらい>

○自分で選んだ遊びをしたり、同じ場にいる幼児と関わったりしながら遊ぶ楽しさを味わう。

○保育者やみんなと一緒に体を動かしたり、触れ合ったりする楽しさを感じる。

○身近な自然に触れたり、遊びに取り入れたりする。

<家庭との連携>

11月4日（火）から、短時間保育児の降園時間が13時30分になります。それに伴い長時間保育児の午睡の時間も変わります。（13時30分～15時）活動時間が長くなり園生活が充実する一方、お子さんの疲れが出てくることと思います。降園後や休日など、休息をしっかりとることを大切にしていきたいと思います。

4 歳児 くま組

日中過ごしやすい気温になったこともあり、多くの子どもたちが園庭に出て遊ぶことを楽しんでいます。園庭では、学級全体の活動で行った「助け鬼」をしたり、オシロイバナの種探しをしたり、楽しいことを見付け遊んでいます。桃井原っぱ公園へ散歩に行った時は、ドングリや綺麗な葉を集めることを楽しんだり、見付けたものを友達同士で紹介しあったりしていました。今月も、体を動かす楽しさを感じたり、秋の自然に触れながら遊んだりすることが楽しめるようにしていきます。

<今月のねらい>

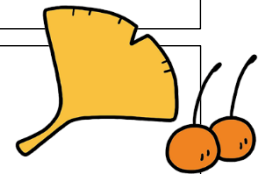
○身近な秋の自然に触れたり、遊びや製作などに取り入れたりすることを楽しむ。

○自分の思ったことを言葉や動きで表したり、そのことを相手に受け止められる喜びを感じたりしながら、友達と関わって遊ぶ楽しさを感じる。

○気候に応じて衣服の調節や、手洗いやうがいを自分から行おうとする。

<家庭との連携>

友達と関わりながら遊ぶことが多くなってきたことや、自分の思いを言葉にして伝えることができるようになってきたことから、思いの出し方などからトラブルになることもあります。ご家庭でもお話を聞き、見守っていただけたらと思います。また、何か心配なこと等がありましたら、担任にお声



5 歳児 そう組

運動会が終わってからも、リズム表現の踊りを踊ったり、くま組やうさぎ組と一緒にパラバルーンをしたりして、運動会の余韻を楽しみました。今月も友達と気持ちや力を合わせて取り組む楽しさを感じられるような経験ができるようにしていきます。

水族館への遠足で体験したことを遊びや子ども会（劇）につなげていきたいと考えています。

<今月のねらい>

○友達と思いや考えを出し合い、共通の目的に向かって遊びや活動を進める楽しさを味わう。

○絵本や物語に親しみをもち、想像を豊かにして聞いたり、表現したりすることを楽しむ。

<家庭との連携>

朝晩は急に気温が低くなり、季節の変わり目によって体調を崩しやすくなる時期です。お子さんにとって、自分で調節のしやすい衣服を着用して登園するようにしましょう。

長時間保育のお子さんは、午睡をしない生活へと変わりました。ご家庭でゆったりと休息がとれるよう、ご配慮ください。



ほしグループ 長時間保育

夜の時間が少しずつ長くなってきました。みんなの部屋で遊んでいると、「さっきまで夕方だったのに、いつの間にか夜になってる！」と驚く姿が見られます。「ずっと明るい夏が終わったから、今度はどんどん夜が長くなるんだね。」と話すと、「秋だから風が冷たくて気持ちいいんだよ。」「そういえば、落ち葉がたくさん落ちていたよ。」と、季節の移り変わりについて自分なりの言葉で教えてくれました。カレンダーの数字だけではなく、自分の体でも季節の変わり目を感じている様子を見て、改めて『直接的な体験』の大切さを感じています。

10月中旬から、そう組は午睡をしなくなり、静かに遊んで過ごしています。また、うさぎ組は、11月から午睡の時間が少し短くなります。ご家庭でも、早寝・早起き・朝ごはんの生活リズムを整え、子どもたちが日中を元気に過ごせるようにしましょう。

